



## Step2. 避難について考えてみましょう！

### 防災コラム

#### 強風・暴風に注意しましょう

強風や暴風時は、風によって小石等が飛ばされ窓ガラスが割れる等の被害が発生しやすくなります。特に台風時は注意が必要です。



#### 強風・暴風から身を守るために

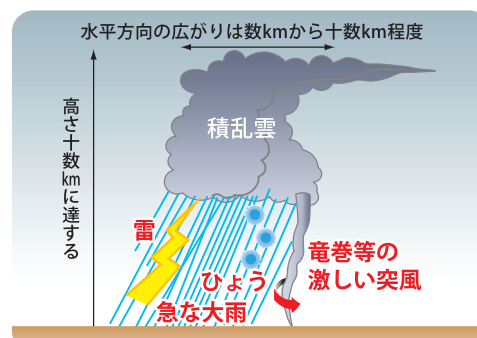
- テレビ・ラジオ等で気象庁が発表する「台風情報」、「強風注意報」や「暴風警報」に注意する。
- 雨戸やシャッター、カーテンを閉める。
- 飛ばされそうなものを家の中に入れるか固定する。
- 不用意に屋外を歩かない。

#### 積乱雲(雷雲)に注意しましょう

大気の状態が不安定なときは、積乱雲(雷雲)が発達し、急に強い雨が降ったり、雷や竜巻が発生しやすくなります。

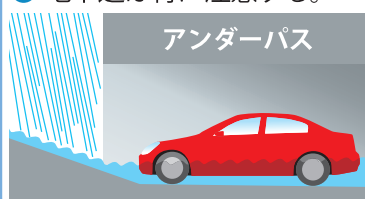
#### 発達した積乱雲の近づく兆し

- 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり、雷が見えたりする。
- ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- 大粒の雨や『ひょう』が降り出す。



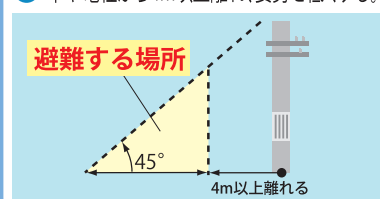
#### 急な大雨に注意

- 1 すぐに水辺から離れる。
- 2 浸水した場所に注意する。
- 3 地下道は特に注意する。



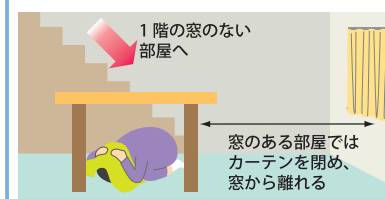
#### 雷に注意

- 1 雷鳴が聞こえたらすぐ避難する。
- 2 建物や自動車の中へ避難する。
- 3 木や電柱から4m以上離れ、姿勢を低くする。



#### 竜巻に注意

- 1 頑丈な建物の中へ避難する。
- 2 屋内でも窓や壁から離れる。



#### いざというときに家庭でできる浸水対策の方法を知っておきましょう

家庭にあるものを土のうや止水板のかわりに使用することで、浸水を軽減することができます。

#### ごみ袋による簡易水のう

- ① ごみ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れる。



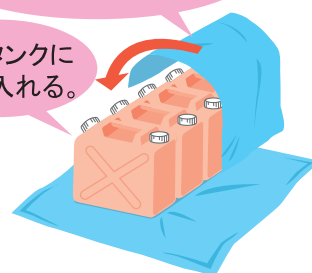
- ② ダンボール箱に入れ、連結する。



#### ポリタンクとレジャーシート プランターとレジャーシート

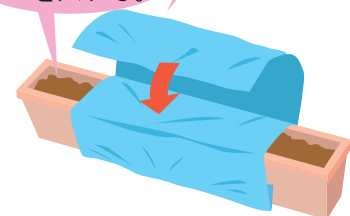
- ② レジャーシートで巻き込み、連結する。

- ① ポリタンクに水を入れる。



- ② レジャーシートで巻き込み、連結する。

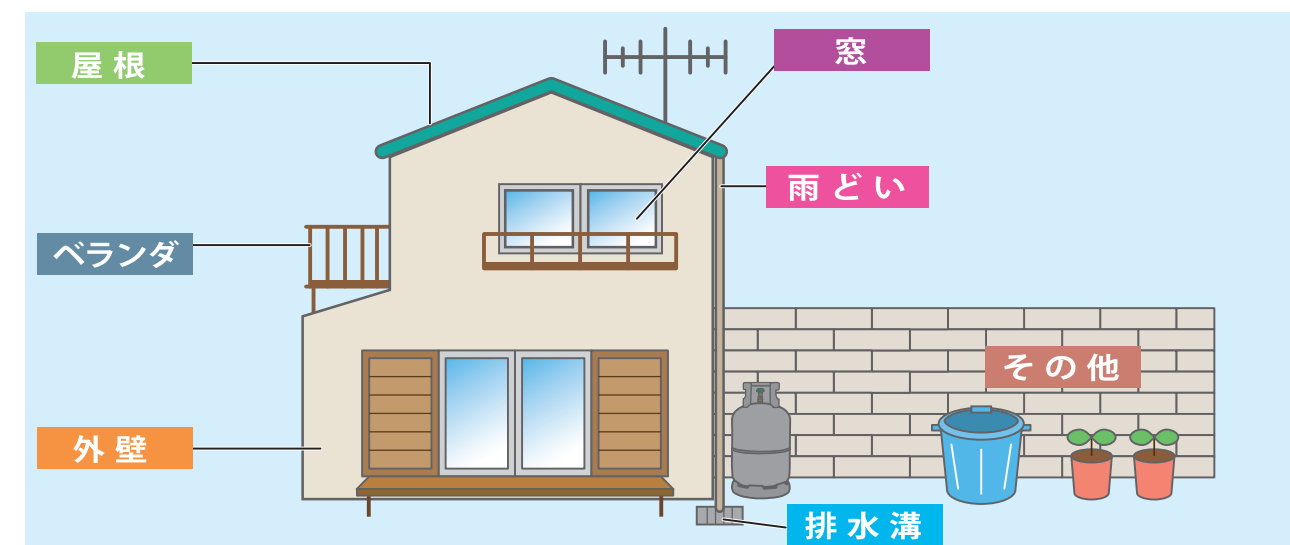
- ① プランターに土を入れる。



### 3. 日頃からの備えをしておきましょう

#### ① 家の周囲を確認しておきましょう

日頃から台風や大雨時に備え、家の周囲の点検や掃除をしておきましょう。



#### 屋根

- アンテナは不安定ではないか。
- トタンがめくれていないか。
- 瓦のひび・割れ・はがれはないか。

#### 窓

- 窓枠のがたつきはないか。
- 雨戸にがたつきはないか。

#### 雨どい

- 雨どいに落ち葉等が詰まっていないか。
- 継ぎ目のはずれや塗装のはがれ、腐りはないか。

#### ベランダ

- 植木鉢や物干し竿等、落下や飛散の危険のあるものはないか。

#### 外壁

- 壁に亀裂はないか。

#### その他

- 商店等では看板のぐらつきはないか。
- ごみ箱や植木鉢等は室内に入れるか、飛ばないように固定しているか。
- 庭木には添え木をしているか。
- ブロック塀は崩れそうにないか。
- プロパンガスのボンベは鎖でしっかり固定しているか。

#### 排水溝

- 排水溝にごみや土砂が詰まっていないか。

#### ② 家の中を整理しておきましょう

大規模な水害が発生した後は、日々の生活を送るうえで発生するごみに加え、大量の災害ごみ(水害が原因で浸水してしまった家財道具や家電製品等)が発生します。また、ごみ処理施設の被災や道路の寸断により、普段とは異なるルールでごみを出していただく可能性があります。

災害ごみを減らすため、日頃から不要なものはためこまず処分しておきましょう。



災害によって道路に出されたごみの山



災害がれきが積みあがった仮置き場